

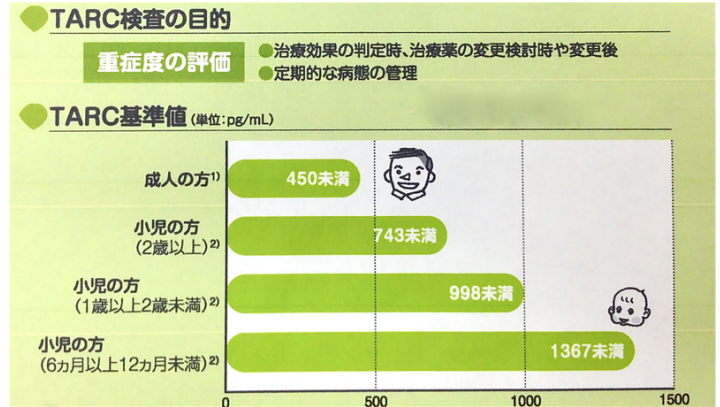
## アトピーの検査 TARC (ターク) とは何？

最近、当クリニックでは TARC (ターク) をアトピーの患児を対象に測定していますが、さて TARC とは何でしょうか。TARC とは、(Thymus and Activation-Regulated Chemokine) の頭文字で、白血球の動きを活性にするケモカインという物質です。

アトピー性皮膚炎では病変部(湿疹)の表皮角化細胞により産生された TARC が、白血球の一つであるリンパ球(Th2 細胞)を誘導し、IgE 抗体産生や好酸球を活性化してアレルギー症状(湿疹)を出現させると言われています。従って、TARC はアトピー性皮膚炎が重症になるほど著明に上昇し、軽快に伴い減少するという、湿疹の状態を客観的に数値化する血液検査なのです。



TARC は、湿疹が一見改善していても、まだ皮下では炎症が残っていて治っていない事を認識するのに役立ちます。軟膏を塗って湿疹が改善すると、治ったと錯覚してしまいがちですが、TARC が高ければまだ炎症が続いており、治療を中断すると再発・悪化しやすい状況にあるわけです。治療を緩めるとどうかは、見かけの湿疹の改善ばかりでなく TARC が基準値未満にあることが必要です。



TARC が基準値未満を保つことで、ステロイド軟膏の回数や量・強さを大胆に減少させることができますし、徐々に軟膏が要らなくなる状態になるわけです。これからは症状(湿疹)がある時だけあわてて軟膏を塗る「リアクティブ療法」でなく、症状がない状態でも TARC をモニターしながら週に2~3回塗り、寛解状態を維持していく「プロアクティブ療法」をすることが治癒への近道と考えます。

しかし、アトピー性皮膚炎の治療はステロイド軟膏だけでは片手落ちです。除去食を始め、甘いもの(特にチョコレート)や酸化した油などを控える食事面のこと、特に免疫をつかさどる腸内細菌叢(さいきんそう: 乳酸菌、ビフィズス菌など)の環境を整えることが最も重要と注目されています。(プロバイオティックスと言います)

(たまなは)